

つくば国際戦略総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.7+3.3)/2=3.5$

3.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	ライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進による産業化促進	246%	5
2	次世代がん治療(BNCT)の開発実用化	0%	1
3	藻類バイオマスエネルギーの実用化	122%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 2 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 3 = 3.7$

3.7

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 $(3.3+2+4.7)/3=3.3$

3.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.7

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.3

・TGI(つくばグローバル・イノベーション推進機構)を核とする分野横断的な取組を続けていることを高く評価したい。
BNCTの見直し、財政支援の活用等の取組検討が期待されるが、植物機能活用生産等新たな取り組みも行っている。

・指標(1)「ライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進による産業化促進」の進捗は極めて順調であるが、それ以外は遅々として進んでいない印象を受ける。研究開発型のため、なかなか捗らないことを考慮しても遅いという印象は拭えない。規制緩和を進め、筑波独自の方式で国際競争の激しい分野でのリーディングエリアとしての地位を一日も早く築いてほしい。

・科学技術だけでなく人文科学の人材も活用して、TGIに法務に関する部門を設け、現行制度の精査、規制緩和に必要な法的整備、自主規制に必要な規程の整備、等について検討し、自らの判断で(中央官庁に頼ることなく)事業を展開したり、中央官庁に法律の整備等を提言することによって事業の開発速度が増すと期待できる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.3

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.5+3.3+3.3 \times 2) \div 4 = 3.4$

3.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。